

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度バックホウの自動化に向けた映像・通信技術検討業務
業 務 概 要	本業務は、バックホウを対象として、建設現場のオートメーション化に向け、建設機械の自動化・自律化や遠隔化など自動施工の環境整備を進める上で、将来的な自動（自律）管制システムへの適応を考慮した遠距離施工可能なカメラシステム及び通信環境を整備するため、市場の既存技術を調査し、自動化等に適した映像・通信技術の検討を行うものである。 主な業務内容は以下のとおりである。 ・ 計画準備 ・ 映像技術の検討 ・ 通信技術の検討 ・ 報告書作成
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官中国地方整備局中国技術事務所長 近藤 弘嗣 広島県広島市安芸区船越南二丁目8番1号
契 約 年 月 日	令和 6 年 1 1 月 2 0 日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区日本橋浜町3－21－1
契 約 金 額	¥15,972,000円（税込み）
予 定 価 格	¥15,972,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙「契約理由書」のとおり
業 務 場 所	中国技術事務所
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 （ 自 ）	令和 6 年 1 1 月 2 1 日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和 7 年 3 月 3 1 日
備 考	

契約理由書 (プロポーザル方式)

契約業者名： （株）建設技術研究所

業務の名称： 令和6年度バックホウの自動化に向けた映像・通信技術検討業務

契約理由：

本業務は、本業務は、バックホウを対象として、建設現場のオートメーション化に向け、建設機械の自動化・自律化や遠隔化など自動施工の環境整備を進める上で、将来的な自動（自律）管制システムへの適応を考慮した遠距離施工可能なカメラシステム及び通信環境を整備するため、市場の既存技術を調査し、自動化等に適した映像・通信技術の検討を行うものである。

業者の選定にあたっては、簡易公募型プロポーザル方式を採用し、配置予定技術者の経験及び能力、実施方針・実施フロー・工程計画・その他、評価テーマに関する技術提案について総合的に評価を行った結果、上記業者と契約することが妥当である。

よって、会計法第29条の3第4項、予算決算及び会計令第102条の4第3号により、契約を行うものである。